

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム1日目> (380分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
1 日 目	9:30~10:30 (60)	研修のねらい	研修の目的と目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し、研修の方向性を明確にする。加えて研修の機会を、研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワーク作りの場に活用することを促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的</li> <li>・目標の明示</li> <li>・目的・目標とカリキュラムの関係を明示</li> <li>・研修の機会を、主体的、積極的に自己学習の場として活用する意義の明示</li> </ul>
	10:30~10:40	— 休憩 —		
	10:40~12:40 (120)	<講義・演習> 生活支援のための認知症介護のあり方	我が国の認知症介護の歴史的経過と現在の方向性を把握し、認知症の人の生活のしにくさを捉え、介護の目的、権利擁護、介護することと自立支援の関係について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の認知症介護の歴史と課題、方向性を明示。</li> <li>・認知症の人の生活障害の確認。</li> <li>・「その人らしく」生活する意味について、介護現場を振り返り権利擁護の視点から考える。</li> <li>・「自立支援」と介護の関係。</li> </ul>
	12:40~13:40	— 昼休み —		
	13:40~16:40 (180)	<講義・演習> 介護現場の理念の構築	「生活支援のための認知症介護のあり方」を踏まえて、自分の職場の理念を振り返り、理念に基づいた介護の提供を行うための具体的な取り組みについて、リーダーとして考えることを促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の職場の理念を振り返り、職場の中での介護理念の重要性について理解。</li> <li>・介護理念を形骸化させずに、明確化し、共有していくことの大切さを理解。</li> <li>・介護理念を共有していくためのリーダーとしての役割とその重要性を理解。</li> </ul>
16:40~17:00 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>・メンバー間の情報交換</li> <li>・アンケートの記入</li> </ul>	

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム2日目> (410分)

	時 間	科 目	目 的	内 容	
2 日 目	9:30~12:30 (180)	<講義・演習> 介護現場の認知症介護のあり方に関するアセスメント	「生活支援のための認知症介護のあり方」「介護現場の介護理念の構築」を踏まえて、自分の職場の認知症介護に関するアセスメントを演習を通して行い、職場における認知症介護に関する課題を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者に求められる職業的倫理・価値観の理解、介護理念に基づいた認知症介護の重要性を再確認</li> <li>・自分の職場の認知症介護の課題を考えるアセスメント手法。</li> <li>・課題を解決していくためのリーダーとしての考え方と取り組み方。</li> <li>・課題解決に向けてチームケアを動かすリーダーの責任と心構え。</li> </ul>	
	12:30~13:30	－昼休み－			
	13:30~15:00 (90)	<演習> 研修参加中の自己課題の設定	これまでの講義、演習を踏まえて、研修中の個人の課題設定を行うことで、主体的に研修に参加する態度をうながす。なお、課題は実習まで含むものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修中の課題設定</li> <li>・課題を文章として示す</li> </ul>	
	15:00~15:10	－休憩－			
	15:10~17:10 (120)	<講義・演習> 実践リーダーの役割と視点	介護現場の実践リーダーとして、介護理念を介護現場で具体化していくために身につけるべき考え方としての視点を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとは何か</li> <li>・チームケアのあり方</li> <li>・リーダーシップについて</li> <li>・演習「介護現場におけるリーダー像とは」</li> </ul>	
17:10~17:30 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>・メンバー間の情報交換</li> <li>・アンケートの記入</li> </ul>		

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム3日目> (410分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
3 日 目	9:30~13:00 (210)	<講義・演習> サービス展開のための リスクマネジメント	実践リーダーの役割として、虐待、拘束、権利擁護の内容とその対応を理解するとともに、認知症により日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、認知症介護を展開する際に、リスクマネジメントを具体的に展開していく技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の人に対する介護理念の確認。</li> <li>拘束、虐待の定義と具体的内容と対応方法。</li> <li>介護場面における権利擁護の理解。</li> <li>リスクについての基本的理解。</li> <li>生活場面において生じる認知症の人のリスク。</li> <li>リスクマネジメントの基本的な考え方。</li> <li>リスクの予測・回避のための対応策（分析・評価）等の技能を身につける。</li> </ul>
	13:00~14:00	－昼休み－		
	14:00~17:00 (180)	<講義・演習> 高齢者支援のための 家族支援の方法	実践リーダーの役割として、家族をどのように理解し、介護や支援を展開することが求められるかを理解し、家族支援できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の理解(介護をめぐる家族意識、形態等の変化を学び、また認知症が家族にどのような影響を与えるのかについての理解。</li> <li>家族の迎える心理的ステップを理解し、支援者としてどのようにかかわっていくのか(家族とのコミュニケーション、情報提供のあり方)を考える。</li> </ul>
	17:00~17:20 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>メンバー間の情報交換</li> <li>アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間に変更になる場合がございますので、ご注意ください。

<実践リーダー研修カリキュラム4日目> (450分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
4 日 目	9:30~13:00 (210)	<講義・演習> 介護現場の環境を整 える方策	実践リーダーの立場から、組織内の対人関係と介護の質を維持向上させるため、職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法を理解し、実践できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場内の人間関係</li> <li>職場内のストレス</li> <li>ストレスとは何か</li> <li>ストレスを感じる「心」とは</li> <li>職場のメンタルヘルス</li> <li>演習による講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解</li> </ul>
	13:00~14:00	－昼休み－		
	14:00~17:00 (180)	<講義・演習> 地域資源の活用と展 開	実践リーダーの役割として、高齢者の能力に応じた生活を支援するために必要な地域資源（公的、非公的両方の地域資源）の内容と連携する方法を理解し、支援できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的、非公的の地域資源の内容</li> <li>地域資源との連携の方法</li> <li>演習による講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解</li> <li>演習は90分以上</li> </ul>
	17:00~18:00 (60)	振り返りと交流会	研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワークづくりの場として交流会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会によるネットワークづくり。</li> <li>メンバーが研修の感想や情報交換。</li> <li>アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間に変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム5日目> (410分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
5 日 目	9:30~11:00 (90)	<講義> 人材育成の考え方	積極的に人材育成に取り組んでいる具体的事例を用いながら、人材育成の目的やねらい、方法、工夫点、課題を理解し、人材育成の重要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成の目的やねらい</li> <li>具体例の提示</li> <li>具体例を通しての方法、工夫点の提示</li> <li>人材育成の重要性と課題</li> </ul>
	11:00~11:10	－ 休 憩 －		
	11:10~12:40 (90)	<講義・演習> 人材育成の企画立案と伝達・表現技法Ⅰ	人材育成の方法として、職場を中心に人材教育や研修を行うに際して、必要となる教育研修カリキュラムの企画立案の方法と講義、演習、指導等を行う際の伝達表現の技法の基本を理解し、実際に展開する際の留意点を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修カリキュラムの企画立案の方法</li> <li>講義、演習、指導等の方法</li> <li>効果的な企画立案、講義、演習、指導等の意義と重要性</li> <li>事後評価について</li> <li>演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解</li> </ul>
	12:40~13:40	－ 昼 休 み －		
	13:40~15:10 (90)	<講義・演習> 人材育成の企画立案と伝達・表現技法Ⅱ	人材育成の方法として、職場を中心に人材教育や研修を行うに際して、必要となる教育研修カリキュラムの企画立案の方法と講義、演習、指導等を行う際の伝達表現の技法の基本を理解し、実際に展開する際の留意点を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修カリキュラムの企画立案の方法</li> <li>講義、演習、指導等の方法</li> <li>効果的な企画立案、講義、演習、指導等の意義と重要性</li> <li>事後評価について</li> <li>演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解</li> <li>演習は60分以上 (例 マンダラート)</li> </ul>
	15:10~15:20	－ 休 憩 －		
	15:20~17:20 (120)	<講義・演習> 効果的なケースカンファレンスの持ち方	実践リーダーとして、職員の意欲や動機付けを高める効果的なケースカンファレンスの持ち方の方法を学び、具体的に展開できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケースカンファレンスの内容</li> <li>事例提示の方法</li> <li>施設・事業所の現状把握</li> <li>ケースカンファレンスの進め方</li> <li>演習 (模擬カンファレンス) による具体的な展開方法の体験的理解</li> </ul>
	17:20~17:40 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>メンバー間の情報交換</li> <li>アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間に変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム6日目> (440分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
6 日 目	9:30~12:30 (180)	<講義・演習> スーパービジョンと コーチングⅠ	人材育成の方法であるスーパービジョンとコーチングの内容を理解し、実践できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョンとコーチングの関係</li> <li>・スーパービジョンの定義</li> <li>・スーパービジョンの内容と方法</li> <li>・コーチングの定義</li> <li>・コーチングの内容と方法</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解</li> </ul>
	12:30~13:30	－昼休み－		
	13:30~17:30 (240)	<講義・演習> スーパービジョンと コーチングⅡ	人材育成の方法であるスーパービジョンとコーチングの内容を理解し、実践できる技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョンの内容と方法</li> <li>・コーチングの内容と方法</li> <li>・演習による講義内容の理解と具体的な技法の体験的理解</li> </ul>
	17:30~17:50 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>・メンバー間の情報交換</li> <li>・アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間の変更になる場合がございますので、ご注意ください。

<実践リーダー研修カリキュラム7日目> (380分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
7 日 目	9:30~12:30 (180)	<演習> 人材育成のための 事例演習1	本教科「人材育成のための技法」の各単元を踏まえて、教科のまとめとして事例を用いて、介護現場で活用できるための実践的な方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成に必要な技法について復習</li> <li>・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる事例の提示</li> </ul>
	12:30~13:30	－昼休み－		
	13:30~16:30 (180)	<演習> 人材育成のための 事例演習2	本教科「人材育成のための技法」の各単元を踏まえて、教科のまとめとして事例を用いて、介護現場で活用できるための実践的な方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる事例演習</li> <li>・具体的事例を使い演習（例 ロールプレイ演習）</li> </ul>
	16:30~16:50 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>・メンバー間の情報交換</li> <li>・アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間の変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

<実践リーダー研修カリキュラム8日目> (410分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
8 日 目	9:30~11:00 (90)	<講義> 事例演習展開のための講義	「組織論」「人材育成論」の教科を踏まえて、認知症介護のアセスメントやケアの基本的考え方と方法を身に付けるための、事例演習法について理解する。	・事例演習法の意義、方法について
	11:00~11:10	－ 休 憩 －		
	11:10~13:10 (120)	<演習> チームケアのための事例演習1-I	事例演習を行う際の問題点とその解決方法	・演習「事例演習を行う際の問題点と解決方法」をグループ討議して発表する
	13:10~14:10	－ 昼 休 み －		
	14:10~17:10 (180)	<演習> チームケアのための事例演習1-II	フェースシートのデザイン	・演習「事例演習で使用する事例を提供するためのフェースシート」をグループで討議し発表する
	17:10~17:30 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。 ・メンバー間の情報交換 ・アンケートの記入

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間に変更になる場合がございますので、ご注意ください。

<実践リーダー研修カリキュラム9日目> (320分)

	時 間	科 目	目 的	内 容
9 日 目	9:30~12:30 (180)	<演習> チームケアのための事例演習2-I	認知症介護事例の教育的利用	・演習「認知症介護についての事例演習を行うための演習事例」をグループで討議し発表する
	12:30~13:30	－ 昼 休 み －		
	13:30~15:30 (120)	<演習> チームケアのための事例演習2-II	事例演習のまとめ	・演習「事例演習で学んだこと」をグループで討議し発表する
	15:30~17:50 (20)	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。 ・メンバー間の情報交換 ・アンケートの記入

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間に変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
平成28年度 認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

＜実践リーダー研修カリキュラム10日目＞（170分）

	時 間	科 目	目 的	内 容
10 日 目	9：30～11：30 (120)	＜演習＞ 実習課題設定	本研修の目的に基づき、「研修の自己課題」の内容と、講義演習の受講を踏まえ、研修成果を実践で活用できる知識・技術にするための実習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の研修課題と研修の成果に基づいた実習目標の設定</li> <li>・他施設の見学実習、職場実習の目標設定に際しての、実習展開例（別に添付）を提示する</li> <li>・本研修目的に沿っていること</li> </ul>
	11：30～11：40	－ 休 憩 －		
	11：40～12：30 (50)	全体のまとめ	研修全体を振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する。</li> <li>・メンバー間の情報交換</li> <li>・アンケートの記入</li> </ul>

※ カリキュラムは予定です。会場により教科等の入れ替わりや時間が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

＜実践リーダー研修実習カリキュラム＞

実 習	時 間	目 的	内 容
実習1：外部実習	3 日	他の介護保険事業所への3日間の体験実習を通して、自己の設定した課題を達成し、その成果を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習の展開。</li> <li>・研修目的に沿っていること。</li> </ul>
実習2：職場実習	4 週間	職場での4週間の実習を通して、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習の展開。</li> <li>・研修目的に沿っていること。</li> </ul>
実習結果 報告まとめ 10：00～16：40	1 日	実習が設定した課題に沿って実施できたかを各自で振り返り、報告し、実習課題がどの程度達成できたかを評価すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習課題に沿った実習展開の結果を整理し報告する。</li> <li>・研修全体の自己評価の実施。</li> <li>・他研修生の自己評価の確認。</li> </ul>